

医療・バイオ

中小企業ながら産学連携を通じて医療関連機器開発などで存在感を高めているのがシステムインスツルメンツ(東京都八王子市、浜田和幸社長)だ。東京大学などと取り組む、筋肉の動きを脳に伝えることで脳を活性化

システムインスツルメンツ、産学連携加速

するが、赤字覚悟で、身銭を切り、先行投資を続ける。BMIは脳と機械を結び、筋肉に信号や脳波の

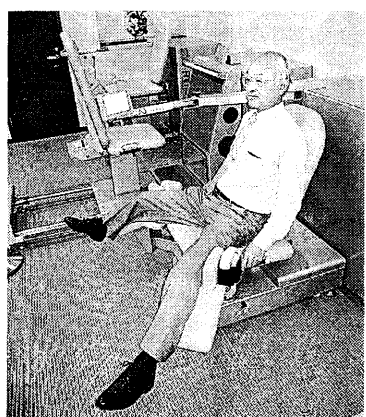
「産学連携の成果はすぐ利益に結び付くわけではないが、社内に様々な要素技術を蓄積し、次のビジネスにつなげるためには欠かせない」。浜田社長はこう強調する。毎年1〜4の連携案件を走らせ、それぞれ何年かかっても成果を生み出してきた。助成金も活用

筋肉の動き伝え脳活性

とは逆に筋肉の動きを脳に伝えることで脳を活性化。筋肉の伸縮で発生する信号を脳に伝え、脳が再



浜田和幸社長



東京駅八重洲口近くにトレーニング機械を配置したサロンを開設した

筋トレ機械も開発 要素技術蓄積し躍進狙う

度の界面計測技術」は機械の技術を継承する形で得てきた。天然物から薬効成分を取り出す技術、ポンプやバルブなど機械部品の加工技術、電気泳動の技術はそれぞれ他社から得た。こうした要素技術を組み合わせ活用し、医療・介護分野で躍進の機会をつかかっている。その1つが介護予防の筋力トレーニングシステム。両足で板を押すレックプレスやひざの曲げ伸ばしのレックエクステンションなど、見た目は普通のトレーニング機械と変わらないが、システムには東京都老人総合研究所(現東京都健康長寿医療センター研究所)が開発した高齢者向けトレーニングプログラムを内蔵している。

「これからの市場を創造していく」とさらなる意欲を燃やしている。筋肉の負荷や運動の回数、加速度などを自動記録してデータベースをつくり、最適な運動プログラムを提案する。重りは500g単位で調整するなど、個人ごとにきめ細かく指導できるのが特徴。昨春には東京駅の八重洲口近くにこれらの機械を設置し、DVD映像などを見ながらくつろぐこともできるサロンを開設した。同社はクロマトグラフイーで分離するアミノ酸

《会社概要》

- 所在地 東京都八王子市小宮町776の2
電話 042・646・3555
設立 1972年5月
従業員 45人
事業内容 理化学機器、医療機器、バイオ・環境関連装置の製造販売

鈴木康浩(多摩支局長)